

ウイングホール柏斎場（火葬場）の  
あり方に関するアンケート

令和6年6月

東葛中部地区総合開発事務組合



# ウイングホール柏斎場（火葬場）のあり方に関するアンケート

東葛中部地区総合開発事務組合

## 1. アンケートの実施概要

### 1) アンケートの目的

ウイングホール柏斎場では、死亡者数の増加に伴い火葬予約が取りにくい状況、いわゆる「火葬待ち」が続いていることから、市民の皆様の葬儀や火葬に対する考えを把握し、今後の斎場運営の参考とするため、市民アンケートを実施することとした。

### 2) 対象者

対象者は、令和5(2023)年12月1日現在の各市の住民基本台帳から無作為に抽出した。

・ 柏市	3,900 人
・ 流山市	1,900 人
・ 我孫子市	1,200 人
合計	7,000 人

### 3) 期間

令和6年(2024)年2月29日(木)～3月19日(火)

### 4) 実施方法

アンケート用紙を対象者に郵送し、記載した回答用紙を同封の封筒で返送してもらう形とした。

### 5) 回答率

配布7,000件に対して回答は2,384件、回答率は全体で34.1%であった。

名称	配布	回答	回答率
柏市	3,900	1,289	33.1%
流山市	1,900	660	34.7%
我孫子市	1,200	433	36.1%
無回答		2	-
合計	7,000	2,384	34.1%

## 2. 市民アンケート調査結果

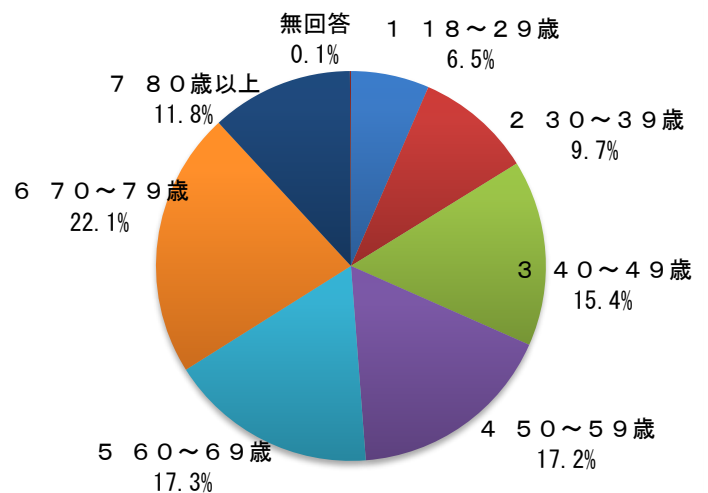
### 1) 設問別の単集計

問1 あなたの年齢を選んで○をしてください。

年齢は「70～79歳」が22.1%と最も多く、次いで「60～69歳」と「50～59歳」がそれぞれ17.3%、17.2%であった。39歳以下は「30歳～39歳」が9.7%、「18～29歳」が6.5%と40歳以上より半分ほどの回答数であった。

【 回答者の年齢 】

年齢	回答数	割合
1 18～29歳	155	6.5%
2 30～39歳	231	9.7%
3 40～49歳	368	15.4%
4 50～59歳	409	17.2%
5 60～69歳	412	17.3%
6 70～79歳	526	22.1%
7 80歳以上	281	11.8%
無回答	2	0.1%
合計	2,384	100.0%

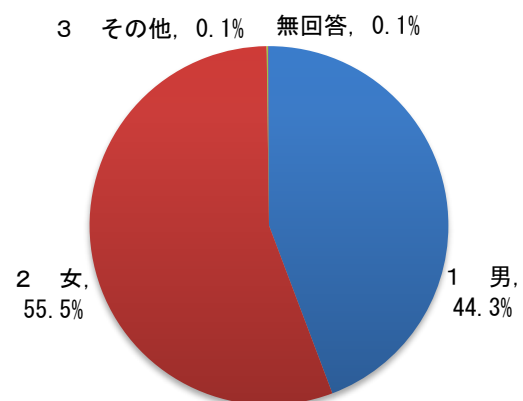


問2 あなたの性別を選んで○をしてください。

性別は「女」が55.5%、「男」が44.3%と僅かであるが女性の回答が多かった。

【 回答者の性別 】

性別	回答数	割合
1 男	1,055	44.3%
2 女	1,324	55.5%
3 その他	3	0.1%
無回答	2	0.1%
合計	2,384	100.0%

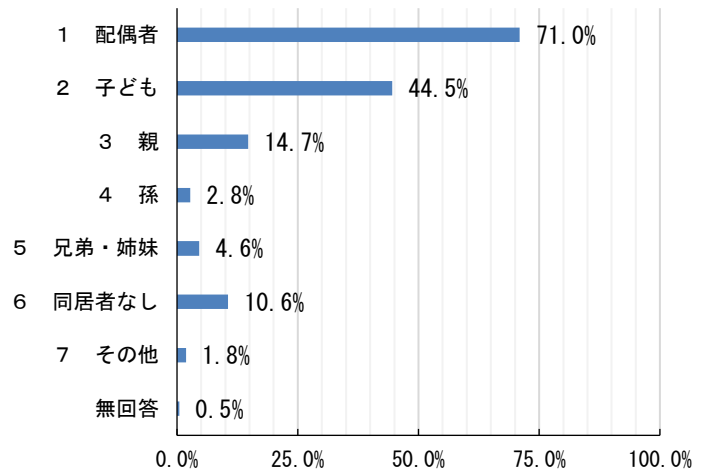


**問3** あなたが同居している人をすべて選んで○をしてください。(複数回答)

同居している人は「配偶者」が71.0%と最も多く、次に「子ども」が44.5%であった。「同居者なし」が10.6%と、一人世帯の方の回答が約1割あった。

【 回答者の家族構成 】

同居している人	選択数	割合
1 配偶者	1,692	71.0%
2 子ども	1,062	44.5%
3 親	351	14.7%
4 孫	66	2.8%
5 兄弟・姉妹	110	4.6%
6 同居者なし	252	10.6%
7 その他	44	1.8%
無回答	12	0.5%
回答者数	2,384	-



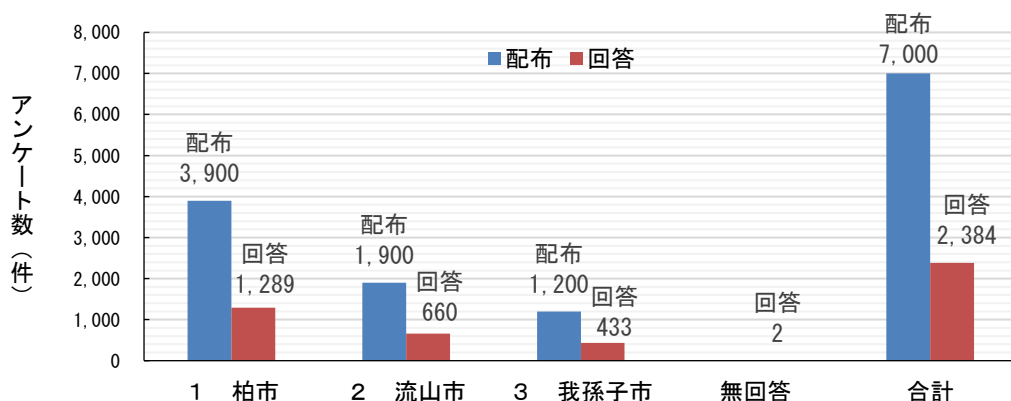
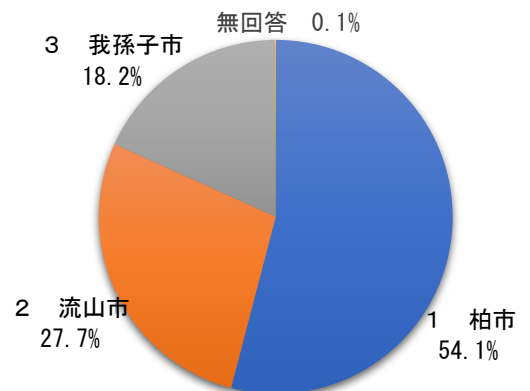
※回答者の家族構成を把握する事から、割合の母数は回答者数とした。

**問4** あなたのお住まいの市に○をして、郵便番号をご記入ください。

回答率は各市とも30%を超え、市による違いは僅かであった。各市の回答率からも配布割合と回答割合(アンケート回収の市別の割合)の差は、僅かであったことがわかる。

【 各市の配布と回答率 】

住居の市	回答数	割合	配布	回答率
1 柏市	1,289	54.1%	3,900	33.1%
2 流山市	660	27.7%	1,900	34.7%
3 我孫子市	433	18.2%	1,200	36.1%
無回答	2	0.1%		-
合計	2,384	100.0%	7,000	34.1%

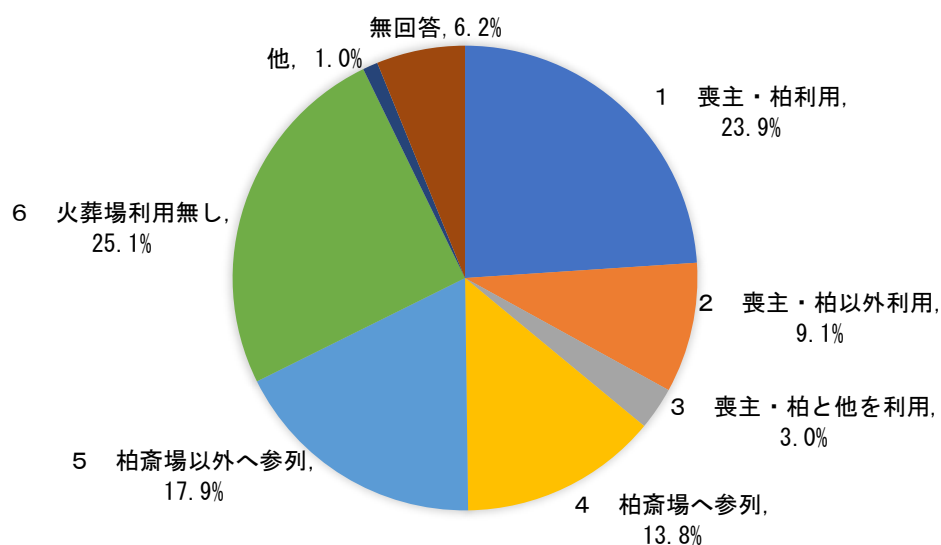


**問5** あなたは、過去数年以内に、柏斎場（火葬場）または他の火葬場を利用されたことがありますか。1つだけ選んで○をしてください。

近年、喪主を経験した方（回答1、2、3）は36%、葬儀を経験した方（回答6、他、無回答以外）は約70%であった。柏斎場を利用された方（回答1、3、4）は約41%であった。その内、喪主として柏斎場を利用した方（回答1、3）は27%であった。喪主として柏斎場以外の火葬場を利用した方は（回答2、3）約12%であった。

【 柏斎場（火葬場）または他の火葬場の利用 】

項目	回答数	割合
1 喪主又は同様の立場として、柏斎場（火葬場）を利用したことがある	571	23.9%
2 喪主又は同様の立場として、柏斎場（火葬場）以外の火葬場を利用したことがある	216	9.1%
3 喪主又は同様の立場として、柏斎場（火葬場）と他の火葬場を利用したことがある	71	3.0%
4 柏斎場（火葬場）に、火葬または葬儀で、知人・関係者（会葬者）として参列したことがある	329	13.8%
5 柏斎場以外の斎場（火葬場）に、火葬または葬儀で、知人・関係者（会葬者）として参列したことがある	426	17.9%
6 柏斎場（火葬場）も他の火葬場も利用したことは無い	599	25.1%
他（4と5の重複回答）	25	1.0%
無回答	147	6.2%
合計	2,384	100.0%



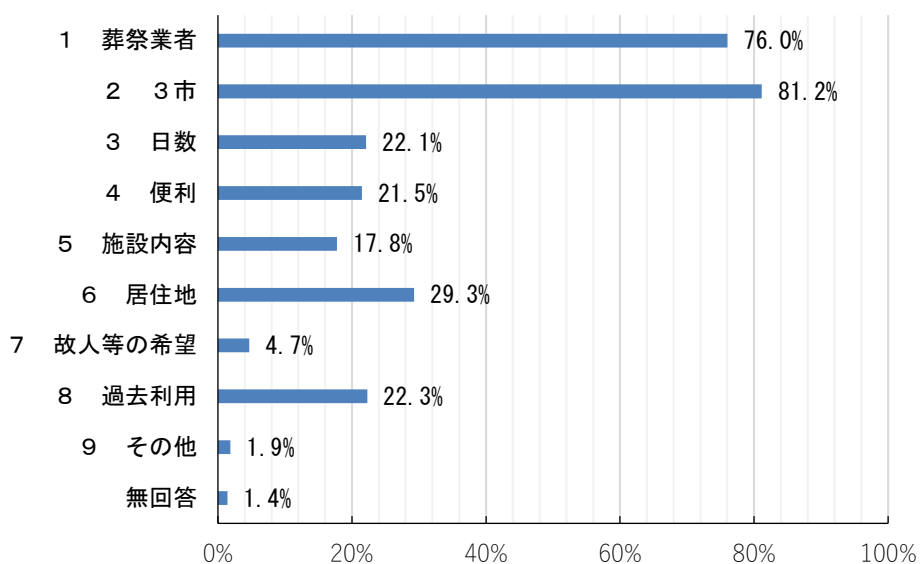
問6 問5で「1」、「3」に回答した方で柏斎場を利用した理由について、あてはまるものすべてに○をしてください。(複数回答)

喪主の立場で柏斎場を利用した方の7割以上が「葬儀業が決めてくれた」、「3市の市民だから」を主な理由として選んだ。それぞれの割合は、76.0%、81.2%であった。

【 喪主の立場で柏斎場を利用した主な理由 】

項目	選択数	割合
1 葬祭業者が決めてくれた	488	76.0%
2 3市(柏市、流山市、我孫子市)の市民だから	521	81.2%
3 火葬までの日数が適正であった	142	22.1%
4 葬儀と火葬が同じ場所で行えるため便利であった	138	21.5%
5 施設内容が良いと思った	114	17.8%
6 居住地から近かった	188	29.3%
7 故人・家族の希望があった	30	4.7%
8 過去に利用したことがあった	143	22.3%
9 その他	12	1.9%
無回答	9	1.4%
回答者数	642	-

※割合は回答者数を母数とした。



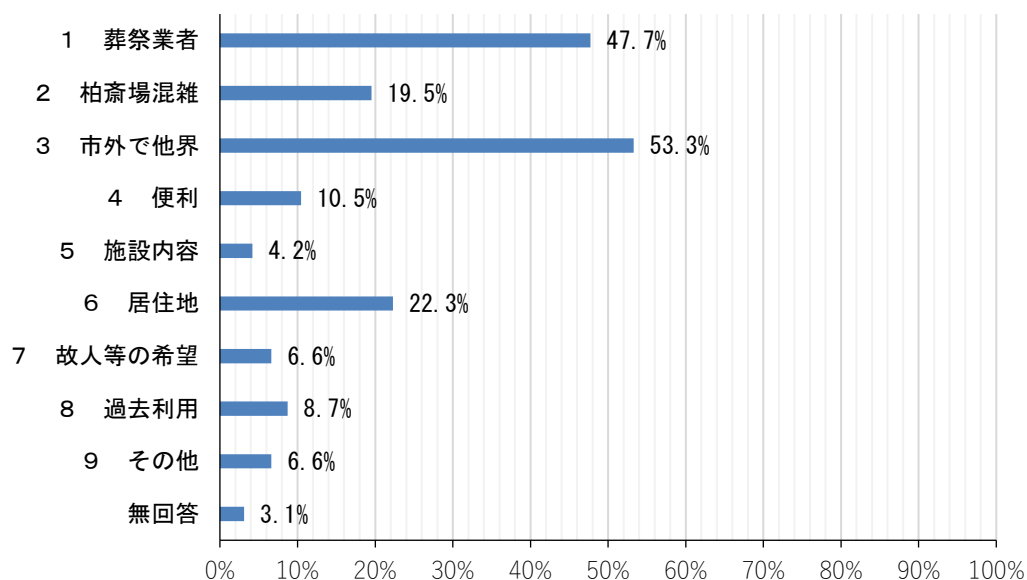
問7 問5「2」、「3」を回答した方で他の火葬場を利用した理由について、あてはまるものすべてに○をしてください。(複数回答)

回答した約半数の方が「葬祭業者が決めてくれたから」、「居住地(市外)で亡くなったため」を主な理由として選び、それぞれ47.7%、53.3%であった。次に多かったのは「居住地から近かった」で22.3%であった。

【 喪主の立場で柏斎場以外を利用した主な理由 】

項目	選択数	割合
1 葬祭業者が決めてくれた	137	47.7%
2 柏斎場が混んでいたため	56	19.5%
3 居住地(市外)で亡くなったため	153	53.3%
4 葬儀と火葬が同じ場所で行えるため便利であった	30	10.5%
5 施設内容が良いと思った	12	4.2%
6 居住地から近かった	64	22.3%
7 故人・家族の希望があった	19	6.6%
8 過去に利用したことがあった	25	8.7%
9 その他	19	6.6%
無回答	9	3.1%
回答者数	287	-

※割合は回答者数を母数とした。





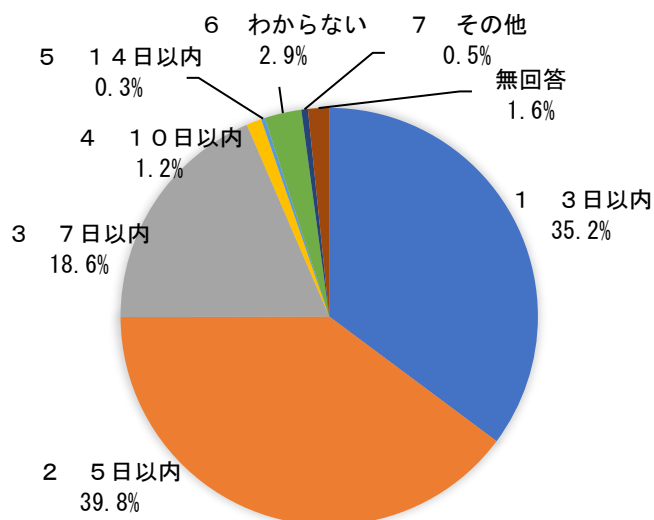
**問8** あなたが家族の火葬を行う立場の場合、亡くなられてから火葬までの日数は、何日くらいまでであれば好ましいと考えますか。1つだけ選んで○をしてください。

「5日以内」が最も多く39.8%、「3日以内」が35.2%、「7日以内」が18.6%であった。回答者の9割以上の方が7日までの火葬を望んでおり、75%の方は「5日までに行いたい」を好ましいと回答した。

選択した理由としては、「亡くなってからできるだけ早く火葬を行いたい」が最も多く44.1%、次が「初七日（7日）までに行うのが望ましいと思う」が34.3%であった。

【 好ましい「待ち日数」 】

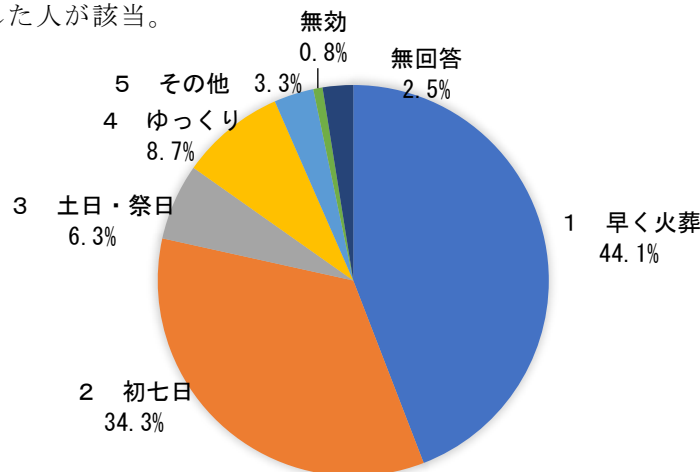
項目	回答数	割合
1 3日以内	839	35.2%
2 5日以内	948	39.8%
3 7日以内	443	18.6%
4 10日以内	28	1.2%
5 14日以内	7	0.3%
6 わからない	68	2.9%
7 その他	12	0.5%
無回答	39	1.6%
合計	2,384	100.0%



※ 選択した日数の理由について

項目	回答数	割合
1 亡くなってからできるだけ早く火葬を行いたい	1,035	44.1%
2 初七日（7日）までに行うのが望ましいと思う	805	34.3%
3 会葬者が集まりやすい、土日や祝日に行いたい	148	6.3%
4 ゆっくりと葬儀の準備をしたり、故人との最後のお別れの時間をできるだけとりたい	203	8.7%
5 その他	77	3.3%
無効（複数回答）	18	0.8%
無回答	59	3.7%
合計	2,345	100.0%

※問8を回答した人が該当。



問9 柏斎場(火葬場)の火葬待ち日数を減らすために、すぐにでも対応可能な対策として、あなたが望ましいと思うものすべてに○をしてください。(複数回答)

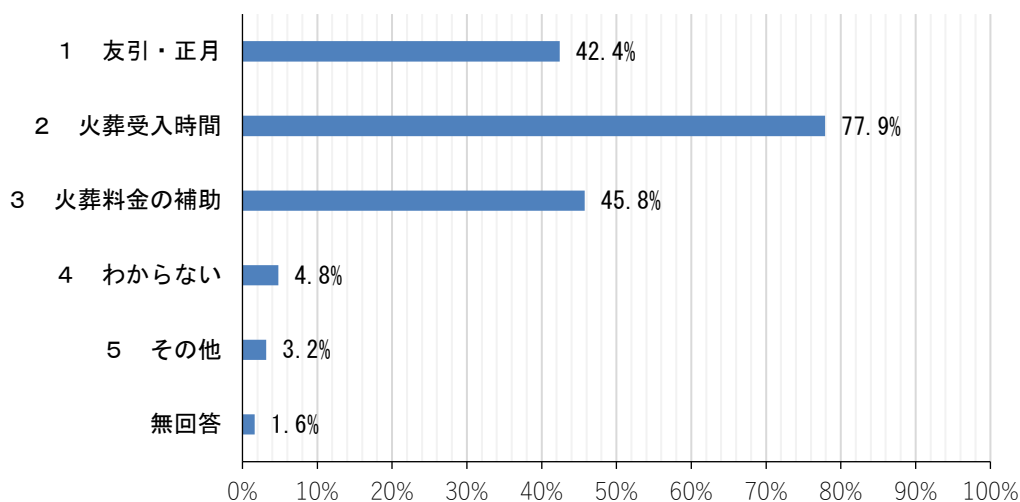
「火葬受入時間を拡げて、1日あたりの受入れができる火葬件数を増加させる」が最も多く77.9%と、約8割の方がすぐにでも対応可能な対策を望んだ。

次が「他市の火葬場も利用しやすいように、火葬料金の補助を行う」で45.8%、「友引や正月(1月2日、3日)も開場して、年間あたりの受入れができる火葬件数を増加させる」が42.4%であった。

【 「待ち日数」の対策として望ましいと思うもの 】

項目	選択数	割合
1 友引や正月(1月2日、3日)も開場して、年間あたりの受入れができる火葬件数を増加させる	1,011	42.4%
2 火葬受入時間を拡げて、1日あたりの受入れができる火葬件数を増加させる	1,857	77.9%
3 他市の火葬場も利用しやすいように、火葬料金の補助を行う	1,091	45.8%
4 わからない	114	4.8%
5 その他	76	3.2%
無回答	39	1.6%
回答者数	2,384	-

※割合は回答者数を母数とした。

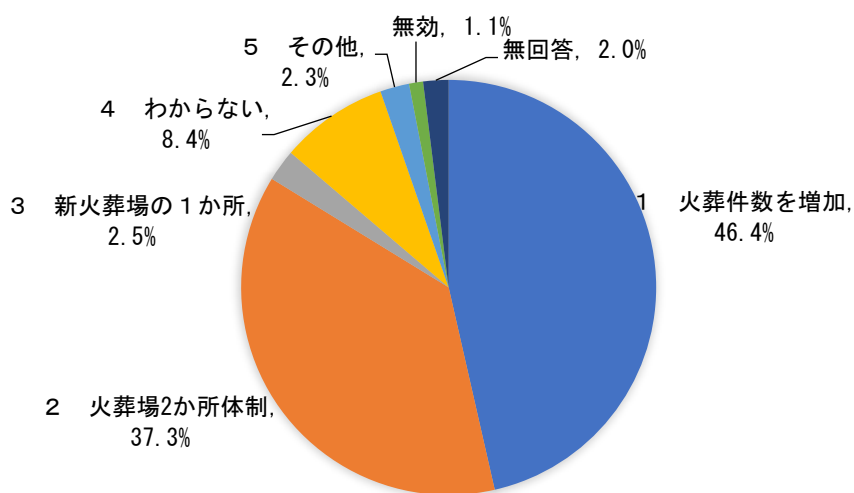


**問 10** 柏斎場（火葬場）は平成 7（1995）年度に開設し、少なくとも、施設の耐用年数（60 年）を迎える令和 37（2055）年までは使用可能です。火葬待ち日数を減らすための望ましい対応について、1 つだけ選んで○をしてください。

項目「1」の「火葬件数の増加」で対応するが最も多く 46.4%、次は「2」の「新火葬場との 2 か所体制の運営」が 37.3%であった。項目「3」の「新火葬場建設後は 1 か所体制」は極めて少なく、2.5%であった。

【 「待ち日数」を減らす望ましい対策 】

項 目	回答数	割合
1 周辺地域の方々に理解をお願いし、友引や正月の開場や、1 日の受入れができる火葬件数を増加させて対応した方が良い	1,107	46.4%
2 新たな火葬場を建設し、柏斎場と新火葬場の 2 か所体制で運営した方が良い	890	37.3%
3 新たな火葬場を他の場所に建設し、新火葬場の完成後には柏斎場を閉鎖した方が良い	59	2.5%
4 わからない	201	8.4%
5 その他	54	2.3%
無 効（複数回答）	26	1.1%
無回答	47	2.0%
合 計	2,384	100.0%



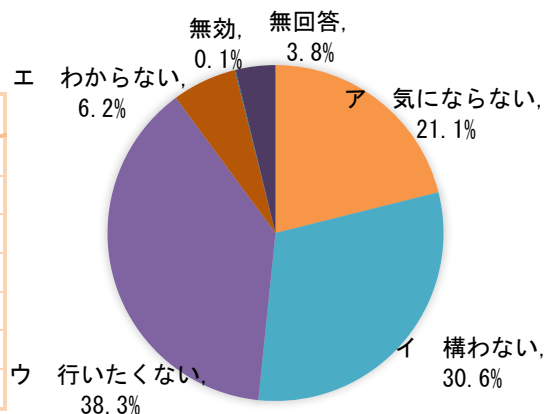
問 1 1 あなたご自身が喪主の立場の場合、次の各項目のうち、あてはまるものを1つだけ選んで○をしてください。

(1) 正月（1月2日、1月3日）の火葬について

「行いたくない」が最も多く 38.4%、次は「待ち日数が短くなれば構わない」が 30.7%、「気にならない」が 21.2%であった。

【 正月（1月2日、1月3日）の火葬 】

項目	回答数	割合
ア 気にならない	503	21.1%
イ 待ち日数が短くなれば構わない	728	30.5%
ウ 行いたくない	912	38.3%
エ わからない	148	6.2%
無効（複数回答）	2	0.1%
無回答	91	3.8%
合計	2,384	100.0%

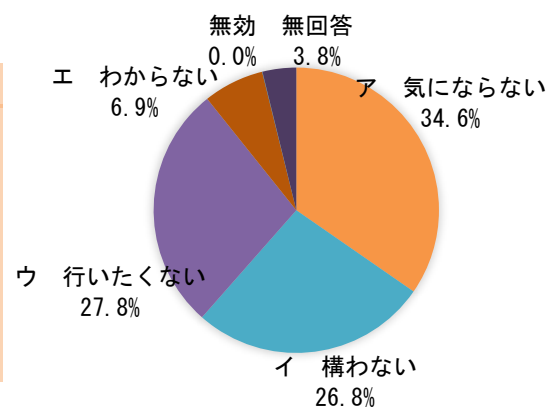


(2) 友引日の火葬について

「気にならない」が最も多く 34.7%、次は「行いたくない」が 27.8%、「待ち日数が短くなれば構わない」が 26.9%であった。

【 友引日の火葬 】

項目	回答数	割合
ア 気にならない	826	34.6%
イ 待ち日数が短くなれば構わない	640	26.8%
ウ 行いたくない	662	27.8%
エ わからない	164	6.9%
無効（複数回答）	1	0.0%
無回答	91	3.8%
合計	2,384	100.0%

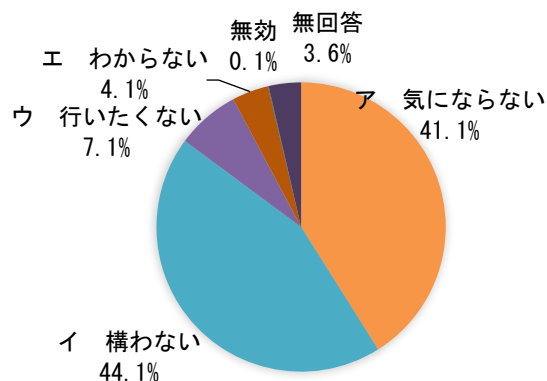


(3) 16時の火葬開始について

「待ち日数が短くなれば構わない」が最も多く 44.1%、次は「気にならない」が 41.1%、「行いたくない」が 7.1%であった。16時の火葬開始は好意的な傾向である。

【 16時の火葬開始 】

項目	回答数	割合
ア 気にならない	979	41.1%
イ 待ち日数が短くなれば構わない	1,051	44.1%
ウ 行いたくない	169	7.1%
エ わからない	97	4.1%
無効（複数回答）	2	0.1%
無回答	86	3.6%
合計	2,384	100.0%

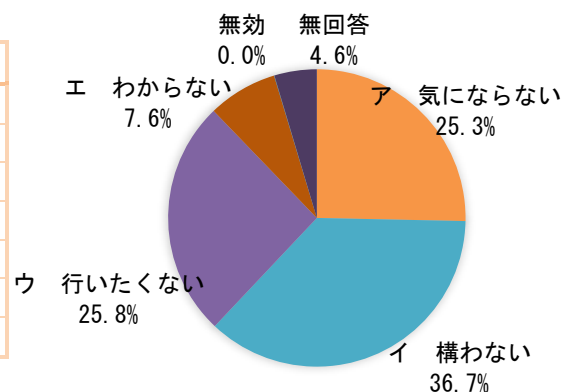


(4) 17時～19時の火葬開始について

「待ち日数が短くなれば構わない」が最も多く36.7%、次は「行いたくない」が25.8%、「気にならない」が25.4%であった。上記(3)の「16時の火葬開始」より、やや低い半数以上の方は好意的な傾向である。

【 17時～19時の火葬開始 】

項目	回答数	割合
ア 気にならない	604	25.3%
イ 待ち日数が短くなれば構わない	875	36.7%
ウ 行いたくない	614	25.8%
エ わからない	180	7.6%
無効(複数回答)	1	0.0%
無回答	110	4.6%
合計	2,384	100.0%

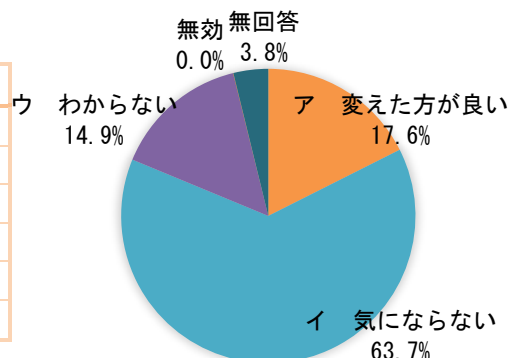


(5) 斎場への霊きゅう車の往来について

「同じ道でも気にならない」が最も多く63.7%、次は「行きと帰りの道は変えた方が良い」が17.6%、「わからない」が14.9%であった。約6割の方は気にならないと回答した。

【 斎場への霊きゅう車の往来 】

項目	回答数	割合
ア 行きと帰りの道は変えた方が良い	419	17.6%
イ 同じ道でも気にならない	1,518	63.7%
ウ わからない	355	14.9%
無効(複数回答)	1	0.0%
無回答	91	3.8%
合計	2,384	100.0%

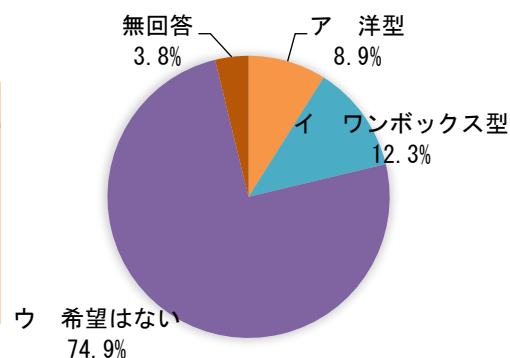


(6) 使用したい霊きゅう車の種類について

「特に希望はない」が最も多く74.9%、次は「ワンボックス型」が12.3%、「洋型」が8.9%であった。霊柩車の種類については7割強の方が「希望はない」と回答した。

【 使用したい霊きゅう車の種類 】

項目	回答数	割合
ア 洋型霊きゅう車が良い	213	8.9%
イ ワンボックス型(ミニバン)が良い	294	12.3%
ウ 特に希望はない	1,786	74.9%
無回答	91	3.8%
合計	2,384	100.0%



問 1 2 公営の火葬場としてのサービスのあり方について、ご意見がございましたらご記入ください。

□ 記載率

(記載回答数÷アンケート全回答数) ×100=23.8%で 567 件の記載があった。

□ 内容の傾向

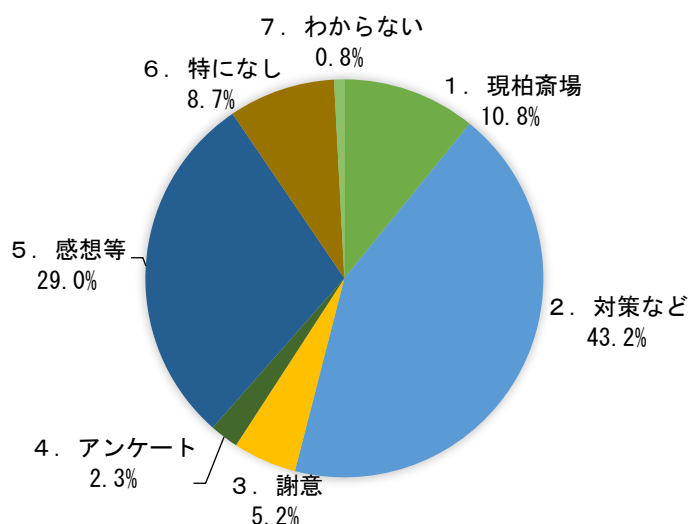
記載内容を大きく 7 つに分けて集計した (※ 集計は延べ記述数とした)。

① 概要

現在の柏斎場、柏斎場の今後の対策などについての記述が全体の約半数の 54.0%、一般的な公営施設のサービスとしての記述は 29.0%と約 3 割であった。

【 公営の火葬場としてのサービスのあり方分類 】

分 類	件数	割合
1. 現柏斎場 (組合) について	65	10.8%
2. 今後の対策などについて	259	43.2%
3. 謝意 (柏斎場への謝意を除く)	31	5.2%
4. アンケートに関する苦言	14	2.3%
5. 感想等 (具体性 (対象) が明確でないコメント)	174	29.0%
6. 特になし	52	8.7%
7. わからない	5	0.8%
合 計 (複数)	567 (600)	100.0%

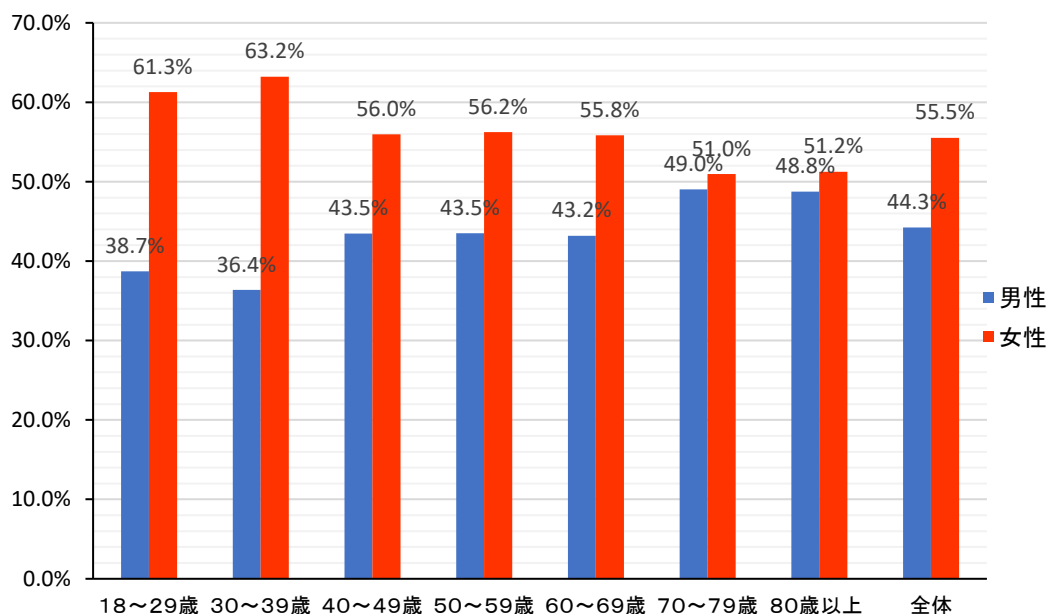


## 2) クロス集計結果

### (1) 年代別のクロス集計（相違がある主だった設問に関して掲載）

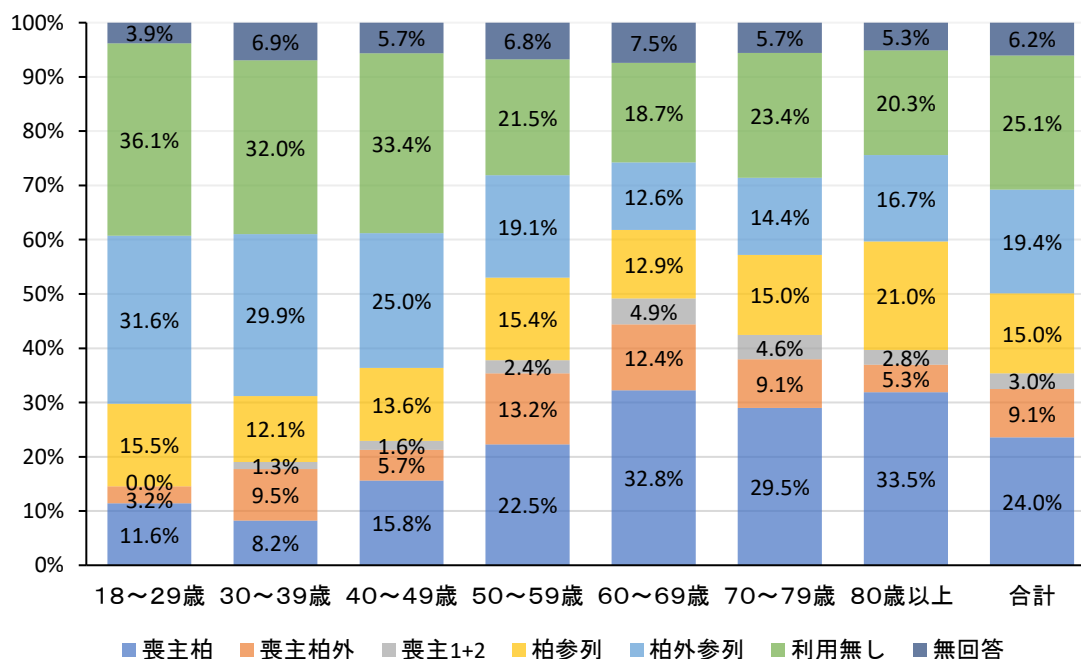
#### ① 年代別の性別の状況（問1と問2）

年齢が若い世代（39歳以下）では女性回答者の割合が高く、18～29歳から80歳以上の年代へ上がると男女の差が小さく推移する。



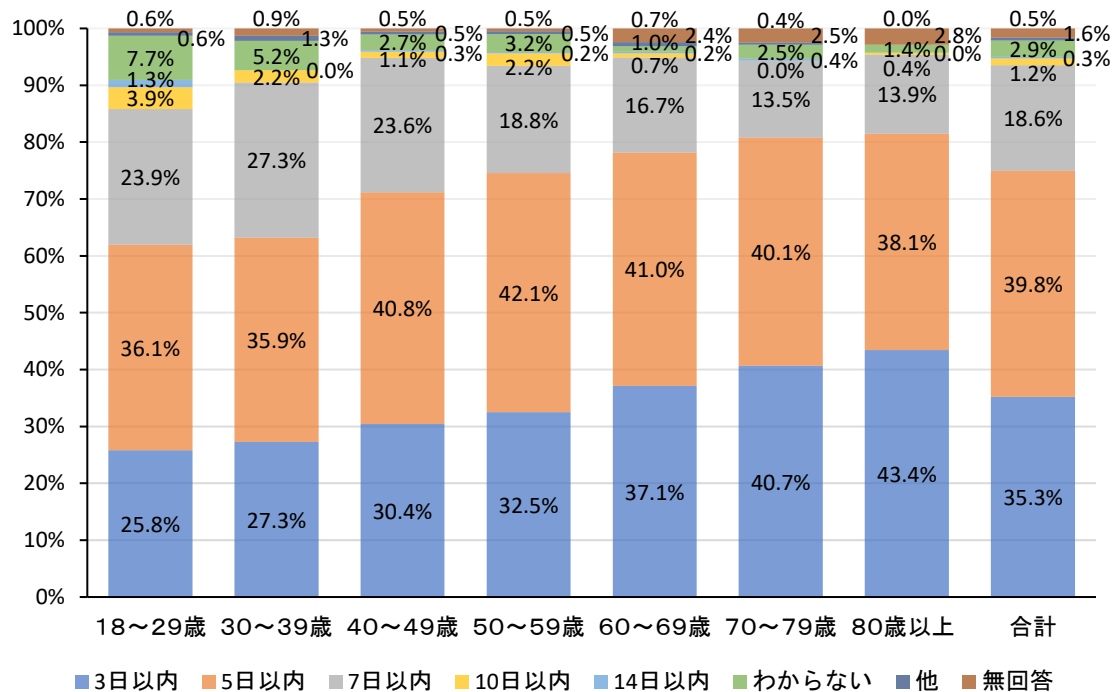
#### ② 年代別の斎場の利用状況（問1と問5）

18～29歳の若い年代では、喪主として斎場を利用することは少なく、参列者として利用（特に柏斎場以外）された人が多い。年代が高くなるにつれ、喪主の立場として柏斎場を利用する人が増加する傾向となった。



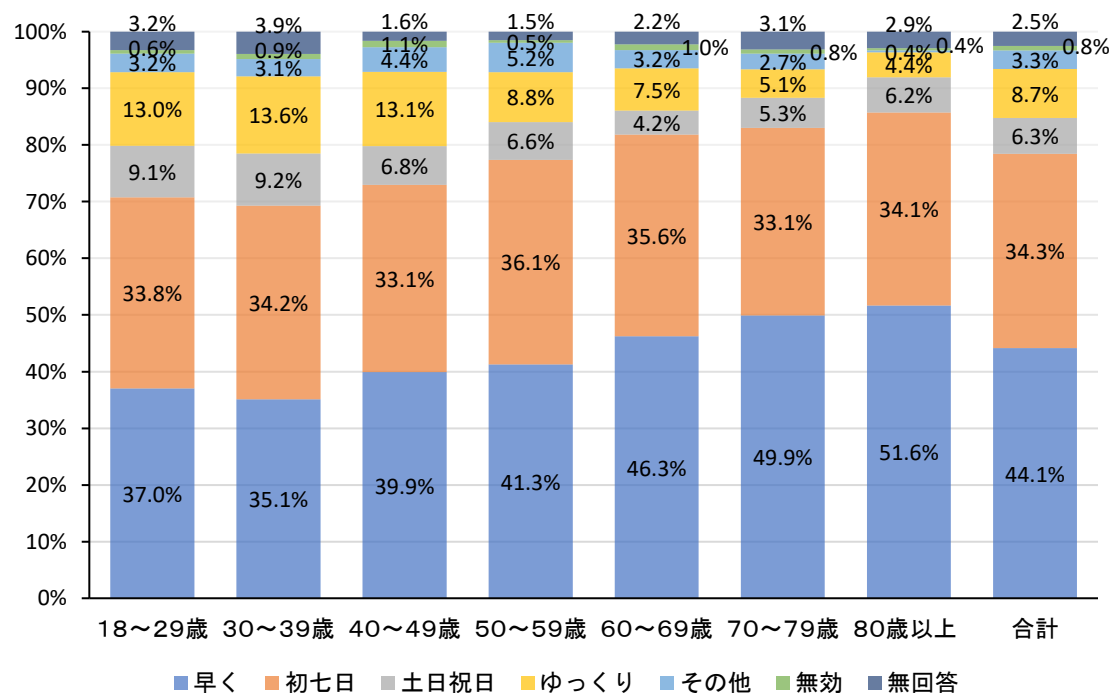
### ③ 年代別の火葬までの日数（問1と問8）

年代が高くなるにつれ、「待ち日数3日以内」が増加する傾向にある。「7日以内」はそれとは反対に減少傾向であった。「5日以内」は各年代での差は僅かであった。



### ④ 年代別問8の理由

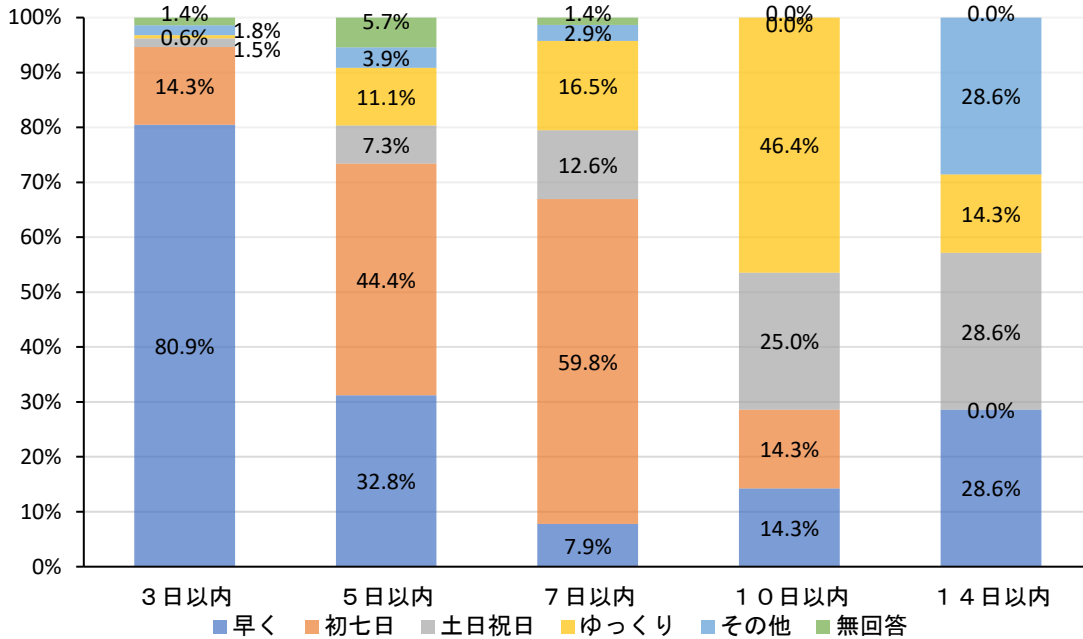
「早く行いたい」は、年代が高くなるにつれ増加傾向であった。





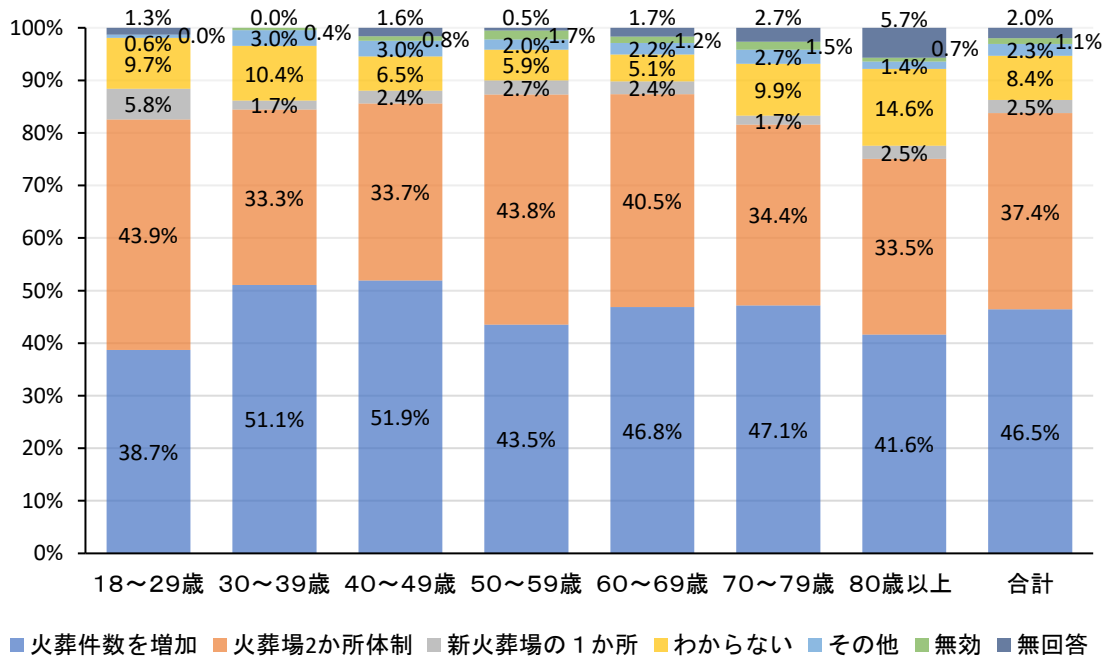
### ⑤ 希望日数別問8の理由

「3日以内」を選んだ方は「早く行いたい」との理由が約8割、「5日以内」を選んだ方は「早く行いたい」と「初七日まで」との理由を足した数が約8割、「7日以内」を選んだ方は「初七日まで」との理由が約6割、「10日以内」を選んだ方は「ゆっくり行いたい」との理由が約半数であった。



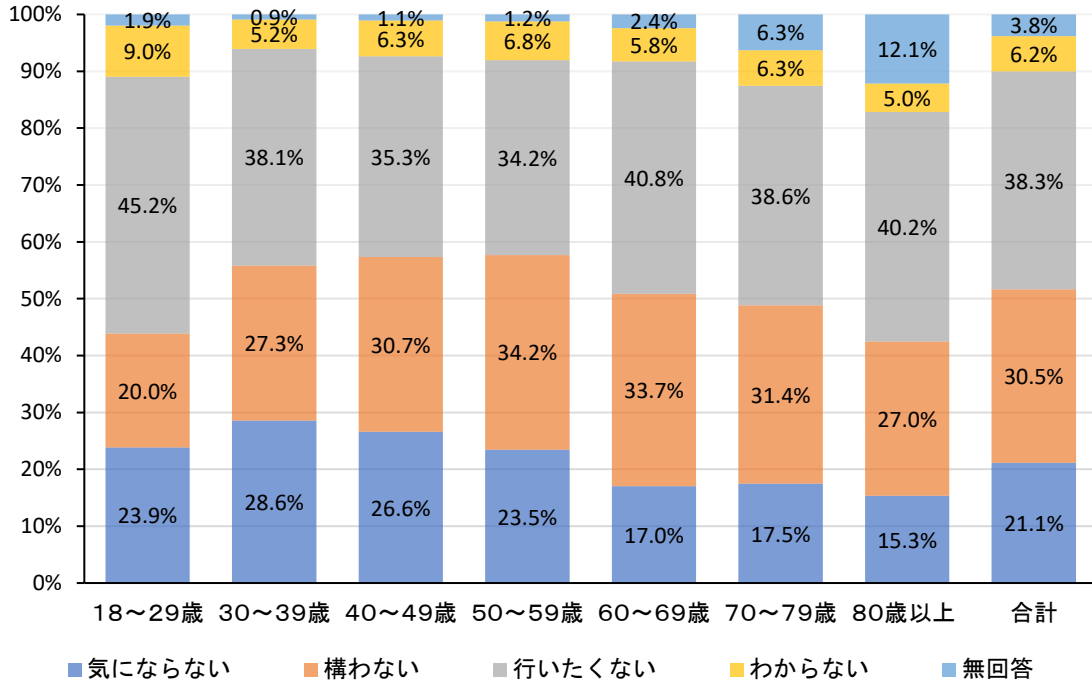
### ⑥ 年代別の火葬待ち日数を減らすための望ましい対応（問1と問10）

「火葬件数を増加」か「火葬場2か所体制」を選択する傾向は各年代で変わらない。



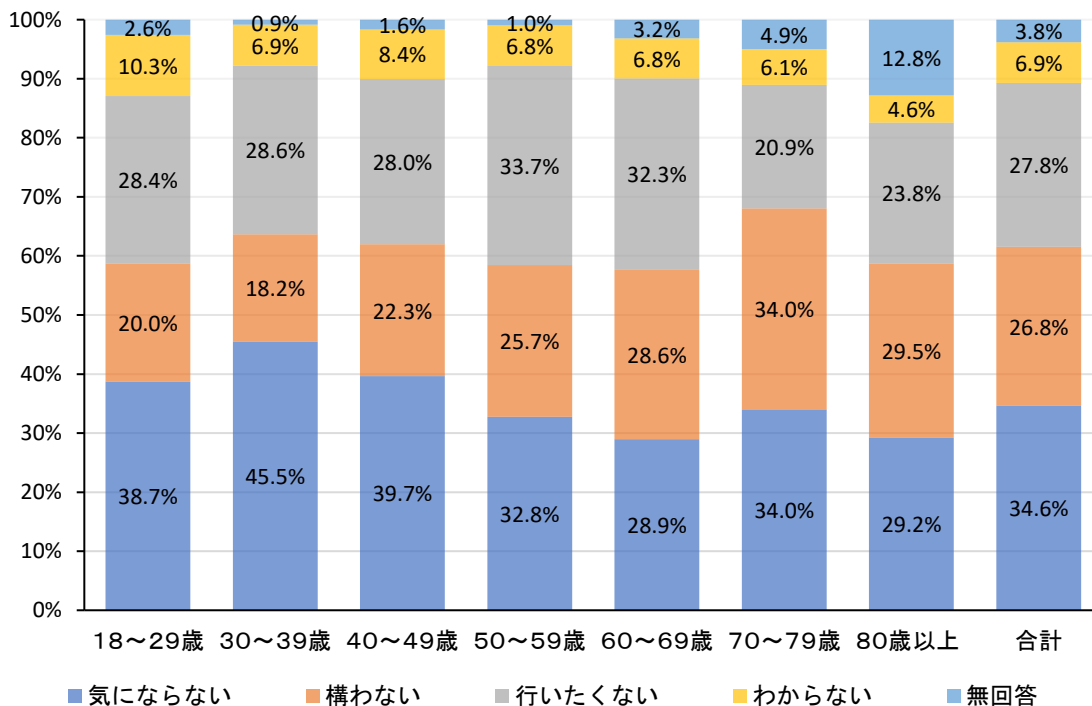
⑦ 年代別の正月（1月2日、1月3日）の火葬について

30歳から69歳までの年代では「気にならない」と「構わない」を加えると半数以上になるが、29歳以下では約43%と低く「行いたくない」が約45%と最も多い年代であった。



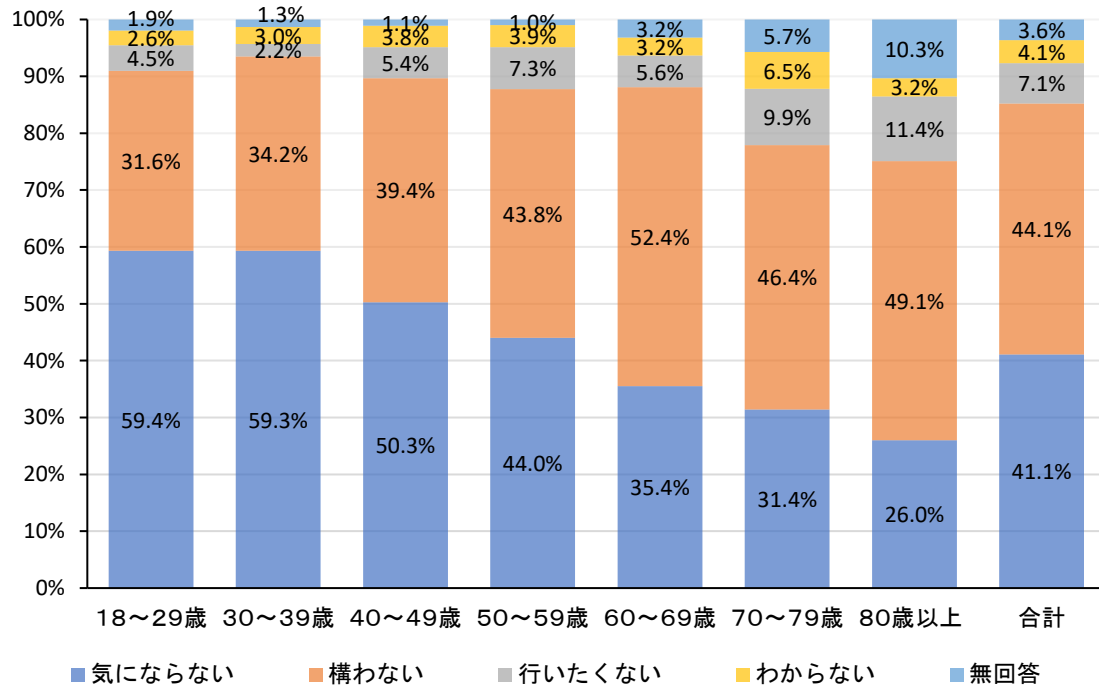
⑧ 年代別の友引日の火葬について

年代別で「気にならない」と「構わない」の差はあるが、両方を加えると約6～7割の範囲になる。若い世代の方が「気にならない」が多い。



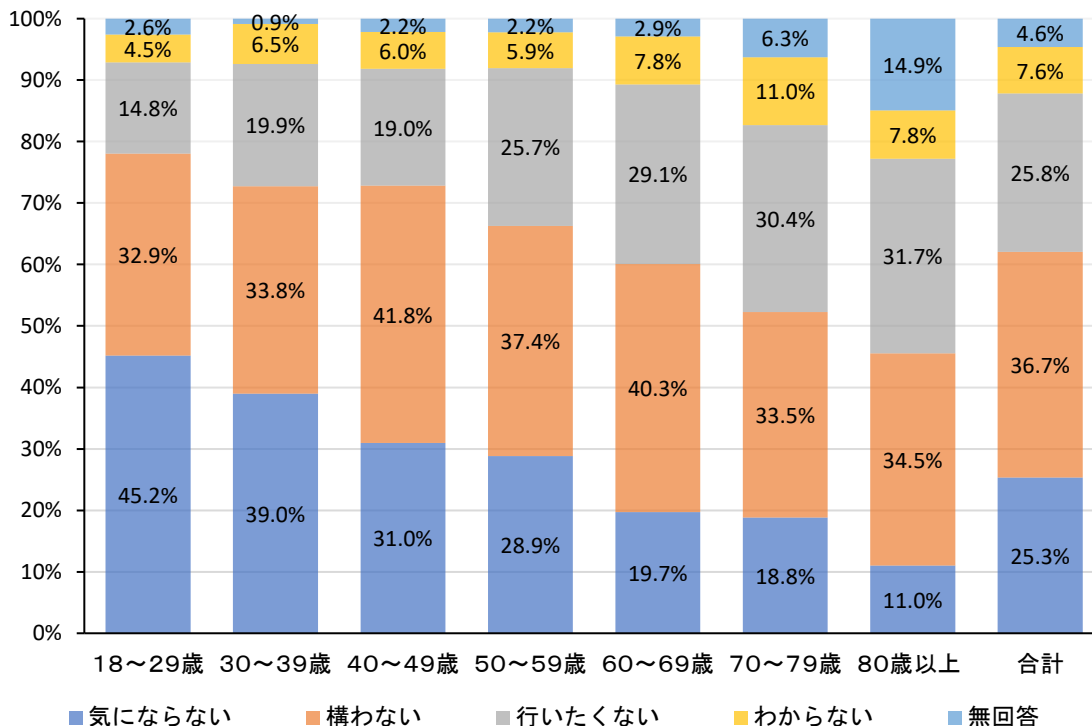
⑨ 年代別の16時の火葬開始について

上記⑧の「友引の火葬」と同じ傾向であったが、若い年代の方が「気にならない」と回答している割合がより高くなった。



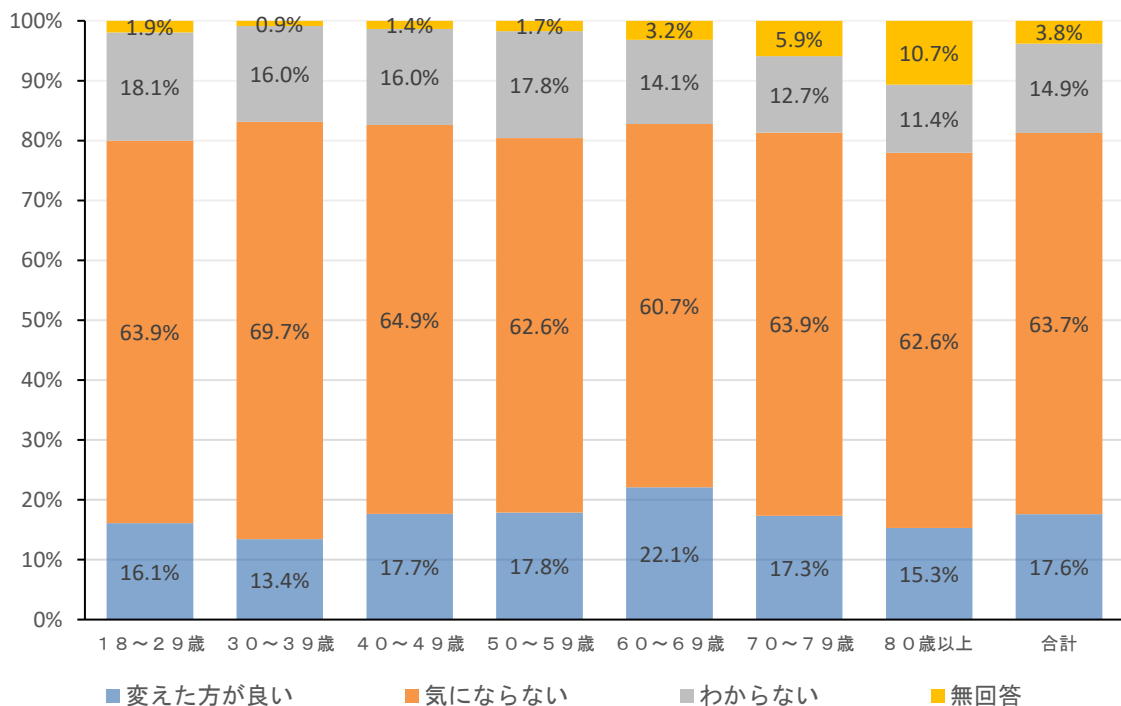
⑩ 年代別の17時~19時の火葬開始について

上記⑨の「16時火葬開始」と同じ傾向であるが、「行いたくない」が上の年代になるに従って増加している。



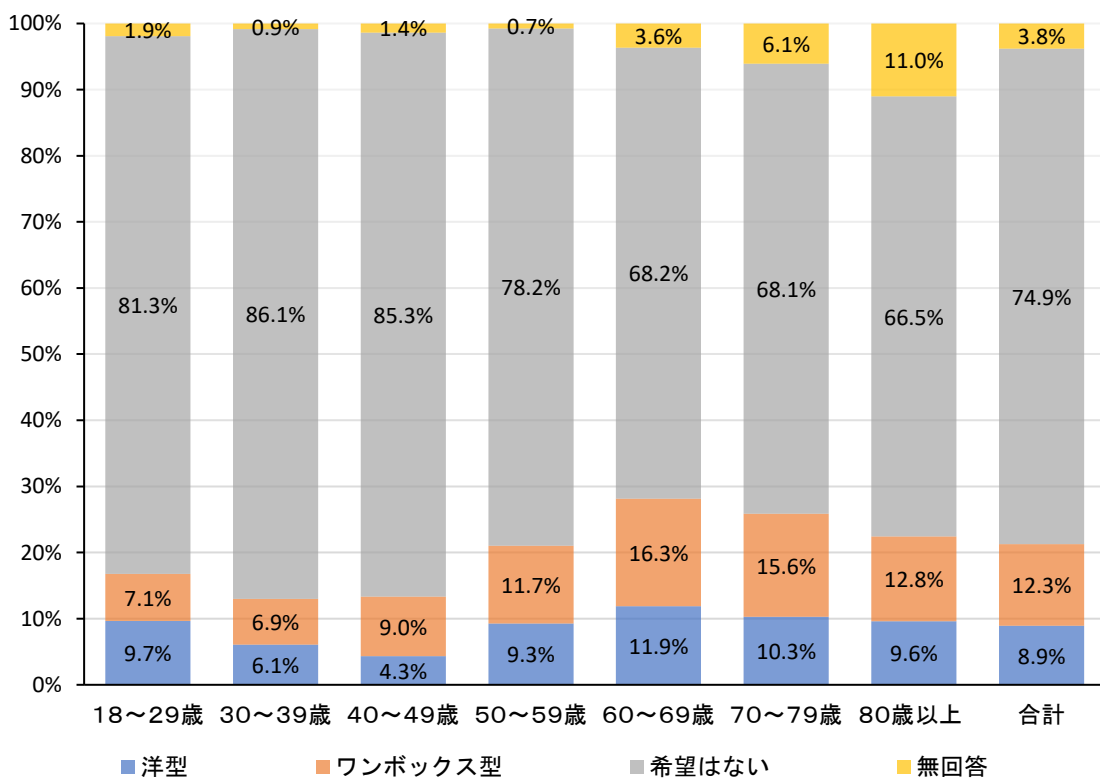
### ⑪ 年代別の斎場への霊きゅう車の往来について

「霊きゅう車の往来」については、60～69歳で「行きと帰りの道は変えた方が良い」が多少多くみられたものの、年代別で大きな差なく、気にならないが圧倒的に多かった。



### ⑫ 年代別の使用したい霊きゅう車の種類について

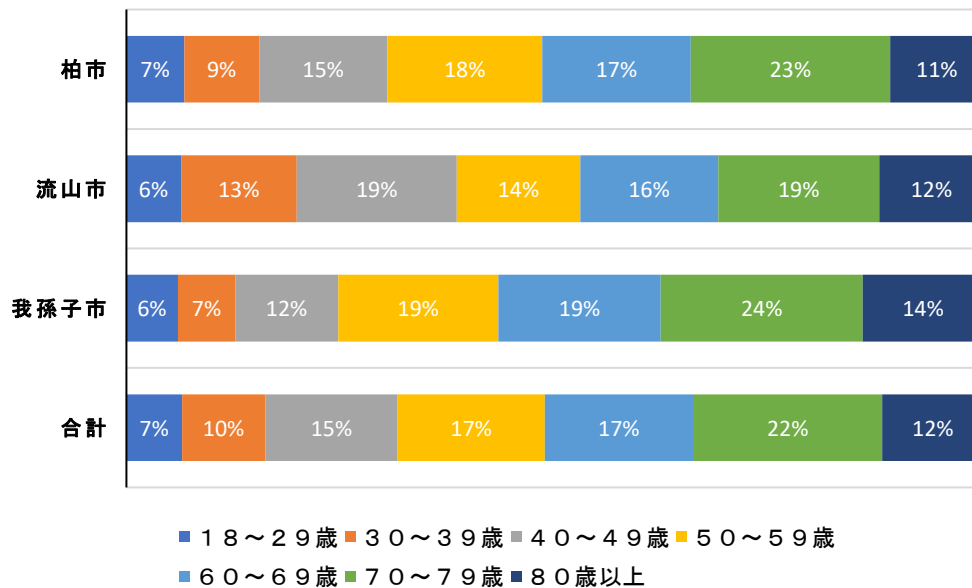
「使用したい霊枢車の種類」については、60歳以上で種類を指定する割合が増えるものの、年代別で大きな差はなく、希望はないが圧倒的に多かった。



(2) 居住市別のクロス集計（主だった設問に関して掲載）

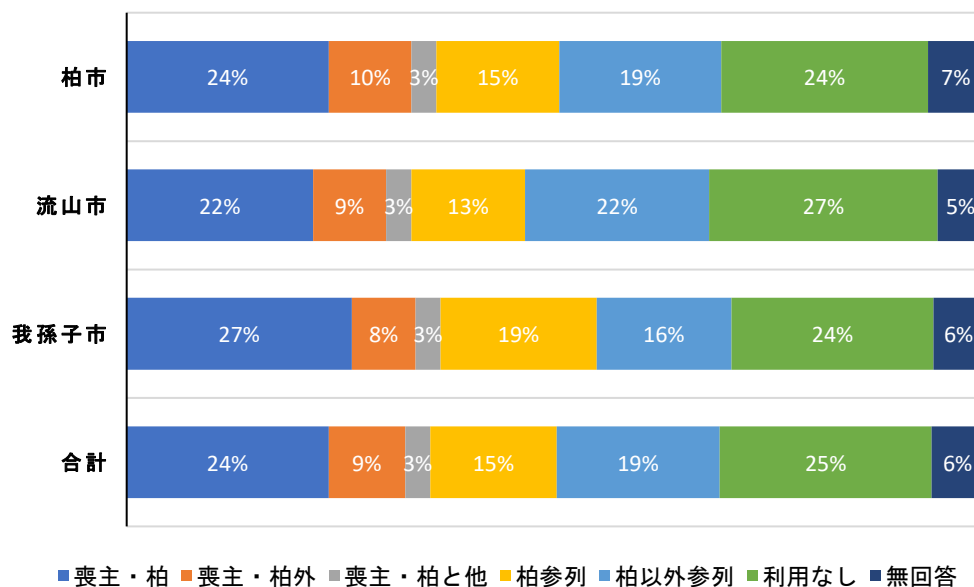
① 居住地別の年齢の状況（問4居住地と問1年齢）

3市合計と比較すると、流山市の30～49歳の回答割合が高く、我孫子市がそれに反し低くなっている。柏市は同じである。



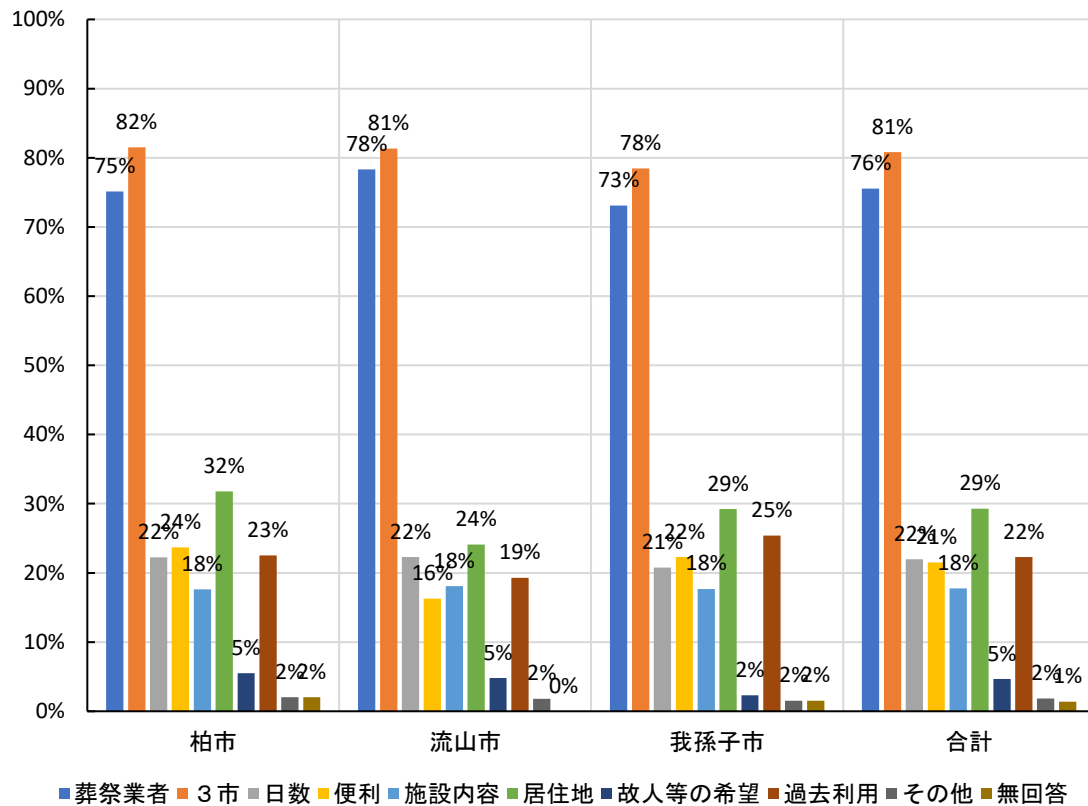
② 居住市別の斎場の利用状況（問4居住地と問5斎場の利用状況）

3市合計と比較すると、我孫子市の「喪主としての立場」の割合が少し高い。



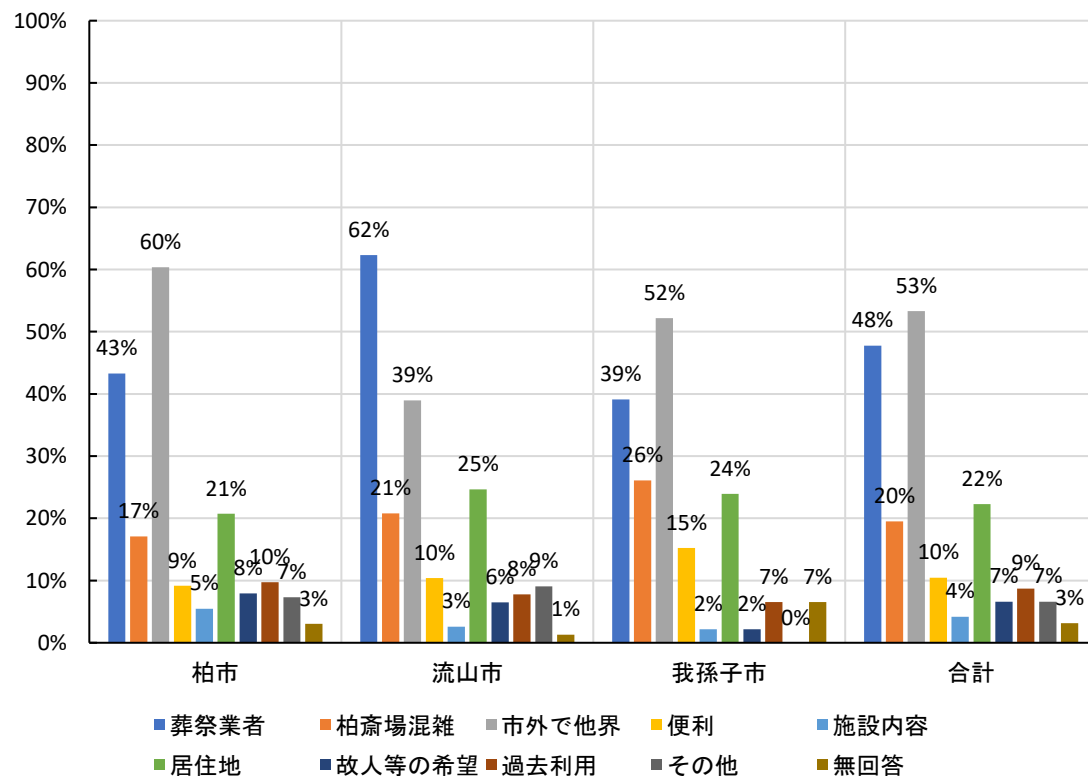
③ 居住地別の柏斎場を利用した理由（問4居住地と問6柏斎場利用理由）

3市合計と比較すると、3市ともほぼ同じである。



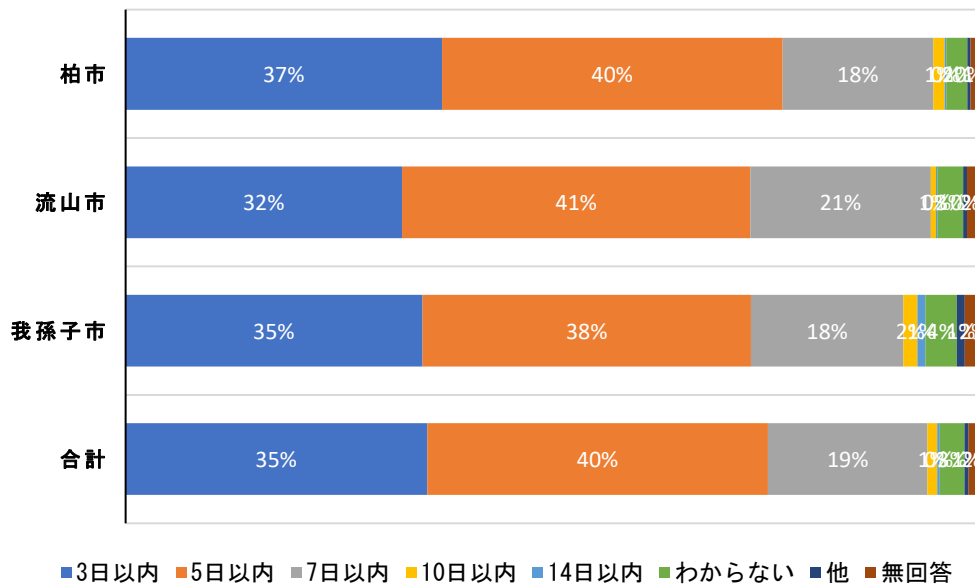
④ 居住地別の他斎場を利用した理由（問4居住地と問7他斎場利用理由）

流山市が「葬儀業者決めた」が多く、「居住地（市外）で亡くなった」が少なかった。



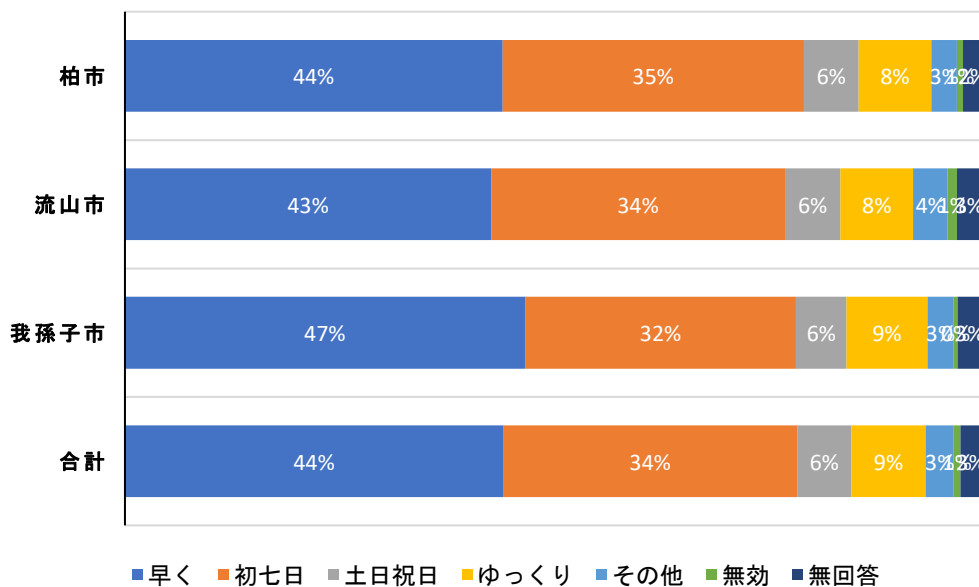
⑤ 居住地別の火葬までの日数（問4居住地と問8火葬までの日数）

3市合計と比較すると、3市ともほぼ同じである。



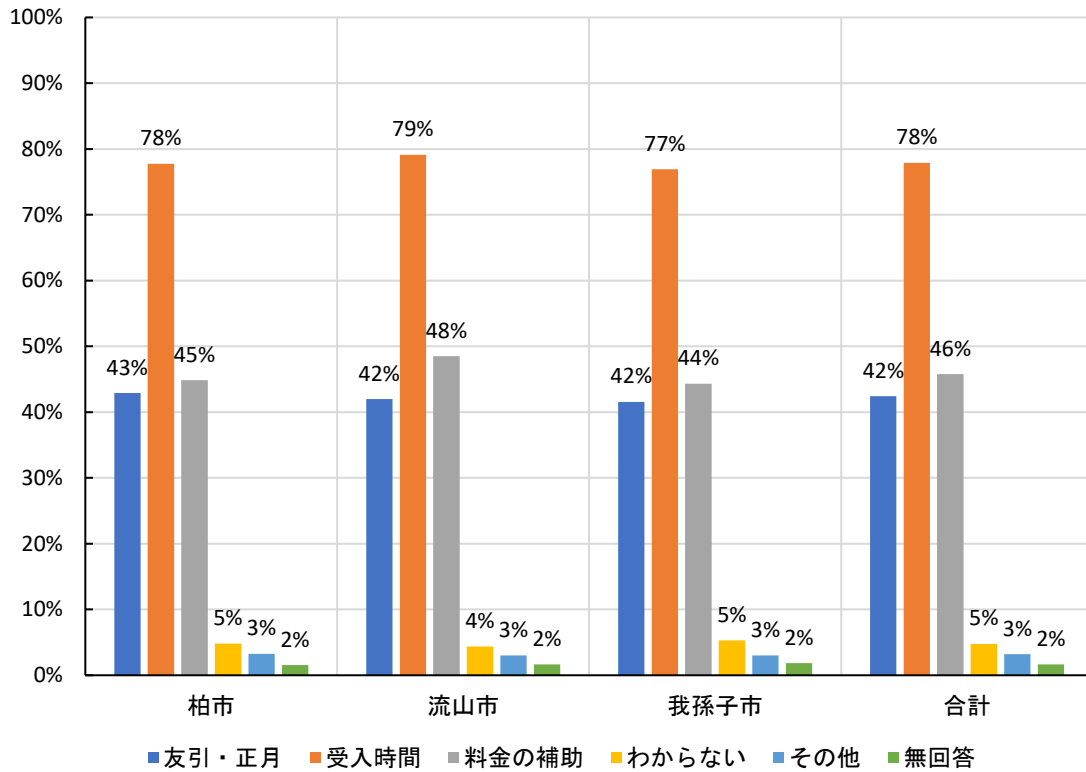
⑥ 居住地別の選択した火葬までの日数の選択理由（問4居住地と問8火葬までの日数の選択理由）

3市合計と比較すると、3市ともほぼ同じである。



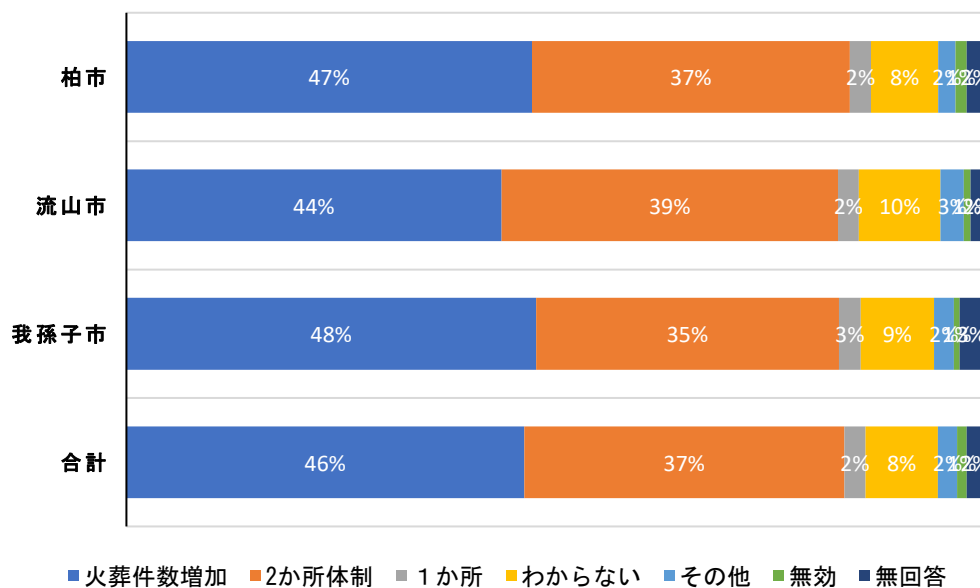
⑦ 居住地別の直ぐに対応可能な内容（問4居住地と問9直ぐに対応可能な内容）

3市合計と比較すると、3市ともほぼ同じである。



⑧ 居住市別の火葬待ち日数を減らすための望ましい対応（問4居住地と問10火葬待ちを減らすために望ましい内容）

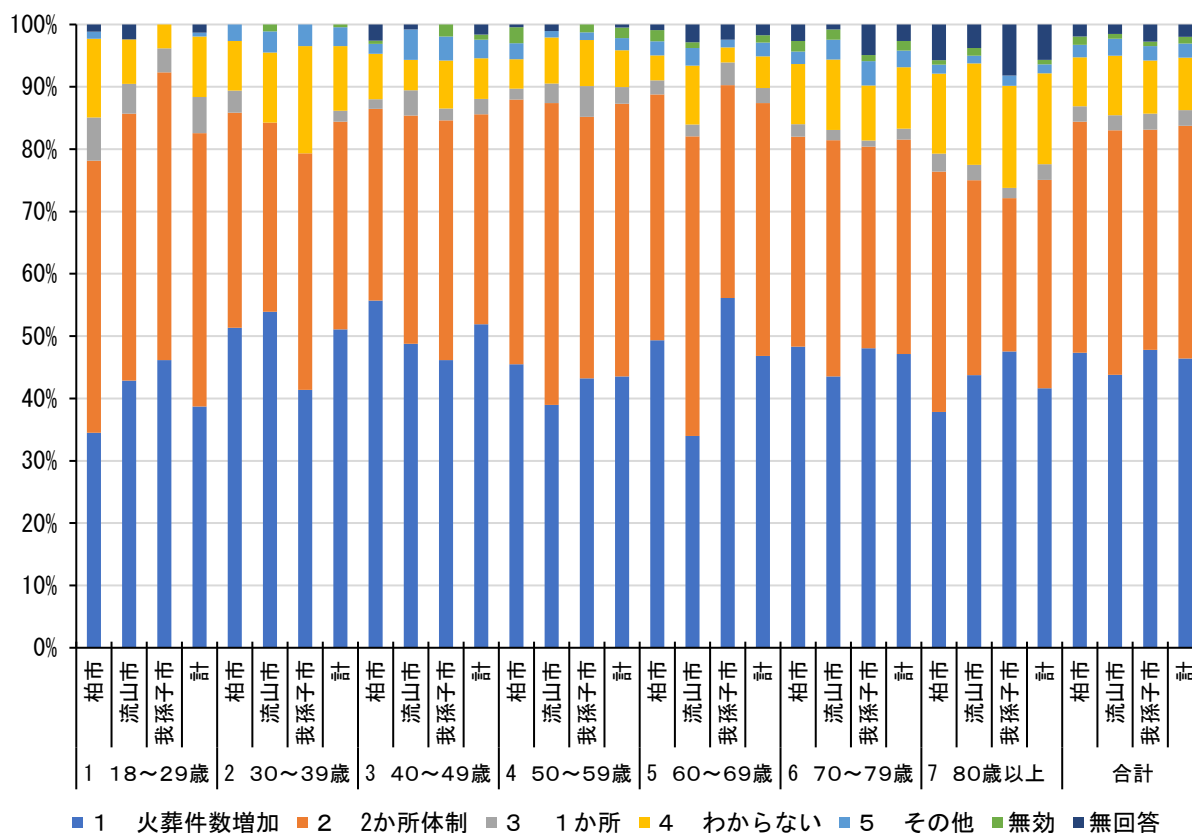
3市合計と比較すると、3市ともほぼ同じである。





⑨ 居住市別の望ましい対応の各世代別比較（問3、問4と問10）

3市とも、ほぼ全ての世代で「火葬受入れ件数の増」を望む割合が最も多かった。



### 3. アンケート結果の要約

#### 1) 基本事項

##### 【 概要 】

- 回答率は約 34%（配布は 7, 000 部）  
※ 男女比は約 44 : 56
- 回答者のうち、最も多い年代は 70~79 歳で約 2 割

#### 2) 柏斎場（火葬場）の利用

##### 問5

##### 【 火葬場の利用内容 】

- 喪主の立場としては 約 4 割
- 喪主以外（参列者）としては 約 3 割
- 火葬場の利用がない人（無回答等を含む）は 約 3 割

- 喪主経験者のうち、約 7 割が柏斎場を利用

##### 問6

##### 【 喪主等の立場で利用した理由 】

##### 《 柏斎場利用の場合 》

- 「葬儀業者が決めた」、「3市の市民」が 各約 8 割

##### 《 柏斎場以外利用の場合 》

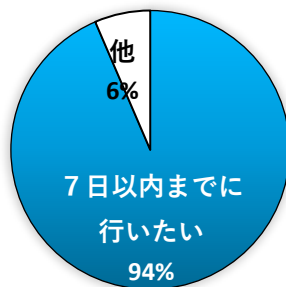
- 「葬祭業者が決めた」、「居住地（市外）で他界」が 各約 5 割

#### 3) 柏斎場（火葬場）の「火葬待ち日数」とその対策

##### 問8

##### 【 好ましい火葬日数 】

- 回答者の9割以上が「7日までに火葬を行いたい」を望んでいる
- より短い日数で火葬をするのが好ましいと考えている人も多い



- ※ 3日以内…約 35%
- 5日以内…約 40%
- 7日以内…約 19%

【 日数の理由 】

- ・「火葬を早く行いたい」が4割強、「初七日」を理由とした人が3割強

問9

【 すぐに対応可能な対策として望ましいもの 】

(複数回答)

- ・「火葬受入時間の拡大」が約8割
- ・「柏斎場以外を利用した場合に火葬料金の補助を行う」、「友引や正月の開場」が各4割強

4) 柏斎場(火葬場)の「待ち日数」を減らす対応

問10

【 望ましい対応 】

- ・「1日の受入火葬件数の増加」が約半数の46.4%
- ・「柏斎場と新火葬場の2か所体制」が37.3%

5) 葬儀の慣習等について

問11

【 火葬日、火葬時間について 】

「気にならない」または「構わない」の合計(%)

- ・「16時の火葬開始」が85.4%
- ・「17時～19時の火葬開始」が62.1%
- ・「友引の火葬」が61.5%
- ・「正月の火葬」が51.9%

【 霊きゅう車について 】

- ・斎場への往来のルート  
「同じ道でも気にならない」が63.7%
- ・使用したい霊柩車の種類について  
「特に希望はない」が74.9%

## 6) クロス集計のまとめ

### 【 主な傾向 】

#### 《 年代別 》

- 「火葬待ち日数」では、年代が上がるにつれ、「3日以内」の回答する割合が高くなる傾向が顕著
- 「慣習等について」では、39歳以下の年代が「気にならない」と回答する割合が、他の年代より高かった

#### 《 居住市別 》

- 「他斎場を利用した理由」(問7)では、3市合計と比較すると流山市の「葬儀業者が決めた」が多く、「居住地(市外)で亡くなった」が少なかったが、それ以外に際立った違いはなかった。
- 「望ましい対応」(問10)を、さらに年代別で比較すると、3市のほぼ全ての年代で「火葬受入件数の増」が最も多かった

アンケートへご協力いただき  
ありがとうございました。